

RFMD ニュース

会社連絡先:

RF Micro Devices Inc.
Brian K. Cockman, Public Relations Specialist
7628 Thorndike Road
Greensboro, NC 27409-9421, USA
電話: +1 (336) 678-8945
bcockman@rfmd.com



rfmd.com

RFMD 社、3G 携帯端末用の送信システムを発表

多地域マルチモード3G 端末プラットフォームの 実装を単純化する柔軟な UMTS ソリューション

バルセロナ(スペイン)、2007年2月13日: 移動通信駆動用各種アプリケーション向けの高性能無線システム/ソリューションを設計、製造し業界をリードする RFMD 社(ナスダック:RFMD)は本日、多地域マルチモード 3G 端末プラットフォーム用の UMTS 送信系を構成可能な RF628x ファミリー製品について発表を行った。

RFMD 社の UMTS 送信系はすべての主要な UMTS 送信周波数帯に対応しており、その製品ラインには RF6280(本日、別途発表)、RF6281、および RF6285 がある。この送信システムには単一バンド専用の(バンド I 用)パワーアンプ・モジュール、柔軟な構成の 2 バンド・パワーアンプ・モジュール(バンド I、II、III、IV、V、VI、VIII、IX に対応可能)、および高効率、低雑音 DC/DC コンバータ/コントローラが含まれる。RF628x 送信システムはコンパクトな設計で、フィルタも含め他社のソリューションより 30% 以上も小さな 3 バンド UMTS ソリューションの実装が可能になる。

2 バンド・デバイス RF6285 の広帯域特性を利用した送信システムでは多地域対応 3G マルチモード端末の実装が大幅に単純化される。またバランス・タイプのパワーアンプ構成により総輻射電力(TRP)や電磁波吸収率(SAR)が改善されるため高価な RF アイソレータが不要となり、同時にプラットフォームの実装が単純化される。

RFMD 社の送信システムは、アナログ・バイアス回路や DC/DC コンバータ/コントローラ(RF6280)を利用してクラス最高の効率を達成しており、あらゆる出力レベルで、また(音声専用から HSPA までの)あらゆるデータレートで最大限の効率が得られるため端末メーカーにとって特に重要な指標となる通話時間の長時間化と熱消費の低減に役立つ。

「RF6280、RF6281、RF6285で構成されるUMTS送信システムにより、UMTS用パワーアンプのナンバーワン・メーカーである当社の立場は更に強化されます。特に重要なのは設計の柔軟性で、当社の UMTS送信システムを使えばフィルタを変更するだけで複数のUMTS地域に対応可能な単一のプラットフォームが実現します。RF回路の基板上のレイアウトを変更する必要はありません。TRPやSARが改善されクラス最高の効率が得られることから、この送信システムは経済性に優れ、効率が高く、柔軟な設計の可能なUMTSを求める端末メーカーにとって極めて魅力的なソリューションとなるでしょう。」と RFMD社のコンポーネント事業部長Konrad Alvarino氏は語る。

総輻射電力 (TRP) とは、たとえばアンテナの不整合状態など、最適化されていない状態で携帯端末が送信可能な出力電力のことである。アンテナの不整合は、アンテナ自体の効率が悪い場合や、端末が金属面に接近した場合など、様々な要因で発生する。不整合なアンテナから送信すると、所定の出力レベルに未達のため呼が切断される場合があるだけでなく、所定の出力レベルを超えてしまい通話時間が短くなったり呼の品質が低下したりする場合もある。RFMD社はTRP性能の改善に積極的に取り組んでおり、呼接続が失敗する頻度を減らし、ネットワークの覆域や効率、データのスループットを向上させることの可能なTRP性能改善技術を既に開発している。

業界調査会社のガートナー・データクエストでは、45%を超える年複合成長率を反映した3Gマルチモード端末の市場を2010年で6億台超と予測している。RFMD社では、平均的な3Gマルチモード端末がサポートするUMTS周波数帯域数は2010年には約2倍になると予測している。RFMD社はUMTS用パワーアンプのグローバル・リーダーで、TRP特性が改善されたUMTSパワーアンプを1,500万セット出荷済み。

RF6280、RF6281、RF6285の各デバイスはいずれも有害物質の使用制限 (RoHS) に適合しており、また製品サンプルは2007年の第3四半期から提供される予定。

RFMD 社について RF Micro Devices, Inc. (NASDAQ RFMD)社は移動通信の主要アプリケーション向けに高性能な無線システム/ソリューションの設計、製造を行う会社で、この業界のグローバル・リーダー。RFMD社のパワーアンプ、送信モジュール、携帯電話用トランシーバ、およびシステム・オン・チップ (SOC) ソリューションは現在および次世代の携帯端末、基地局、無線ローカルエリアネットワーク (WLAN)、無線パーソナルエリアネットワーク (WPAN)、全地球測位システム (GPS) などの最新機能をサポートし、全世界的なモビリティの向上と接続性の拡大に寄与するもの。最先端の半導体技術による幅広い製品ラインと無線システムの豊富な経験で定評のある RFMD 社は、現在および将来の市場要求を満たす最新無線機能のサプライヤーとして、世界中の主要な移動通信機器メーカーから選ばれている。

ノースカロライナ州グリーンズボロに本社を置く RFMD 社は ISO 9001 および ISO 14001 の認証取得済みのメーカーで、世界各地にエンジニアリング、設計、販売、サービスの拠点を持つ。RFMD 社は RFMD 銘柄で米ナスダックグローバルセレクト市場に上場しています。なお詳しい情報は RFMD 社のホームページ、www.rfmd.com に紹介されている。

このプレス・リリースには、1995年米国私募証券訴訟改革法 (Private Securities Litigation Reform Act) がその免責条項として定める「将来的な予測」が含まれています。この「将来的な予測」には当社の計画、目的、説明、主張などについて、またはそれ以外についての記述が含まれていますが、これらの記述は歴史的な事実ではなく、通常は「可能」、「必要」、「予測」、「期待」、「予定」、「計画」、「推測」、「確信」、「推定」、「予想」、「可能性」、「継続」などの用語や類似の用語とともに使用されています。またこれらとは別の表現で「将来的な予測」が記述される場合もあります。この文書に含まれている「将来的な予測」の記述は現時点における経営陣の判断や期待を表していますが、実際の成果や出来事、業績などはこれら記述で表現されたり暗示されたりした内容とは実質的に異なる場合もあります。当社は米国連邦証券取引法により要求される場合を除き、これら「将来的な予測」の記述内容を改訂したり、あるいはその記述の改訂を公表したりする意図を持っていません。RF マイクロデバイス社の事業には多くのリスクや不確実性が内在しており、その内容には四半期毎の経営成果の変動、無線関連市場の発展や成長率、ウェハ製造施設、分子線エピタキシー施設、組み立て施設、試験、テープ、リール施設など各種製造施設の稼働に関するリスク、熟練技術者や開発リーダーを採用・確保する当社の能力、生産歩留りの変動、革新的技術によりコストを削減し正味利益率を改善する能力、新製品を市場に投入する能力、顧客の在庫センター

を通して行う委託販売への依存性、製品需要に即応したタイムリーな生産能力の調整を行う能力、限られた顧客への依存性、サードパーティへの依存性などが含まれています。上記以外も含むこれらリスクや不確定性については米国証券取引委員会の様式 10-K に従った RF マイクロデバイセス社の最新アニュアルレポートの中で説明されていますが、このような不確定性のため、これら記述の表現や暗示による内容と実際の成果や出来事、業績とは実質的に異なる場合があります。

RF MICRO DEVICES® および RFMD® は RFMD, LLC の商標である。その他の商品名、商標、登録商標はそれぞれの所有者の財産である。

###